



# Chitose Rotary Club

藤本会長方針  
「学びと実践」

会長 藤本 敏廣 副会長 五十嵐 宏 幹事 五十嵐 桂一  
会長エレクト 沼田 常好 会計 藤川 俊一  
第2510地区ガバナー 羽部 大仁 第7グループ・ガバナー補佐 菊池 重敏

ロータリー創立日 1905年2月23日  
千歳RC創立日 1967年4月26日

～1月はロータリー理解推進月間～

本日の例会(2月5日 第32回) 通常例会

担当: 三 役

## 第31回(通算2359回) 例会報告

日時: 2015年1月29日(木) 12:30~13:30

場所: ANAクラウンプラザホテル千歳

プログラム: 通常例会

担当: 国際奉仕委員会

司会: SAA・プログラム委員会 今野 良紀 副委員長

四つのテスト: 社会奉仕委員会 大西 信也 委員長

## お客様紹介(五十嵐 宏 副会長)



本日のお客様は、認定NPO法人「飛んでけ!車いす」の代表理事 中原 宏和 様、理事 佐々木 香澄 様です。

## 会長挨拶(藤本 敏廣 会長)



皆さん、こんにちは。早いもので1月の最終例会であります。1月は新年会、挨拶回りから始まり、後半は一気に降った雪の影響により雪かきに追われるという、慌ただしい1ヶ月でありました。

1月25日に佐々木 昭さんの四十九日法要が行なわれ、お参りして来ました。佐々木昭さんとは子供の頃から隣近所で小学校に行くのも一緒、それこそ雪が降れば近所の子供達と集まり、馬ソリで千歳小学校まで通ったものでした。思い返せばロータリーも同期入会であり、長いお付き合いでした。仏壇のお写真を見ていましたら、今にも自慢の歌を披露してくれそうな感じが終始しております。

1月27日には2015-16年度(沼田年度)の第1回目の理事会がありました。沼田丸出航の準備が着々と進んでおり、終始なごやかな理事会でありました。昨年のちょうど今頃はよいよ始まるか・・・と不安な気持ちで第1回理事会を迎えた事を思い出します。緊張してカチカチでした(笑)。半年が経った今も毎回不安の連続ではありますが、皆さまのご支援の下、何とかここまで頑張ってきております。残り5ヶ月間、引き続き更なるご支援をよろしくお願い致します。

## 幹事報告(五十嵐 桂一 幹事)



1. 2月の例会は当初の予定通りとします。  
2. 2月5日の例会は、当クラブの名誉会員 山口 幸太郎千歳市長による卓話となります。なるべく多くの会員に出席を促す為、本日欠席されています会員が主とはなりますが、皆さまにFAXあるいはメールを送りますのでよろしくお願い申し上げます。

3. 昨年の最終例会の年次総会におきまして承認頂きました細則の変更「ロータリー歴と年齢の合計が85を超えた場合は、ご自身の所属企業から後継者を正会員に推薦出来る」件ですが、推薦した正会員の会費を減額する件についてご報告します。

先程の理事会において、年会費は3万円、例会に出席する毎に負担する実費ですが、早朝例会500円、通常例会1,300円、夜間例会3,500円となりました。なお、クリスマス家族会は他の会員と同様に扱う事としました。藤本年度では下半期の会費請求書を既に発送済みですので、適用される時期ですが、沼田年度からの適用になると考えております。皆さまのご理解をお願いします。

4. 12月末付で藤本会長宛に提出されておりました、菟川会員の退会届ですが、慰留を試みましたがご本人の意思は固く、翻意の可能性が著しく低い事から、本日の理事会において退会届の受理を決定しました。これにより本日付の正会員の数は58名となっております。

## 国際奉仕委員会卓話



### 講師のご紹介 国際奉仕委員会菅原正行委員長

皆さん、こんにちは。本日は「誰にでもできる国際協力」と題しまして、認定NPO法人「飛んでけ!車いす」の会の代表理事であります中原 宏和 様、同じく理事であります佐々木 香澄 様にお越し頂いております。それでは早速講師のプロフィールをご紹介させていただきます。はじめに中原 宏和 様ですが、お生まれは札幌市白石区で、現在は夕張市に在住されております。北海道大学経済学部経済学科を2012年にご卒業されております。ボランティアへの関わりですが、ボランティア活動を始められて8年目です。立命館慶祥高校在学中にベトナムに「車いす」を持って行かれ、その後、北海道大学入学直後より「飛んでけ!車いす」の会にて学生ボランティアとして活動され、世界中に車いすを届ける活動や日本国内での啓蒙活動を行っています。ちなみに、車いすを運んだ回数としては、個人旅行で2回、スタディーツアーとして3回参加されております。

次に理事であります佐々木 香澄 様のご紹介をさせていただきます。お生まれは札幌市北区、現在は千歳市に在住されており、国際奉仕委員会榊原副委員長の職場であります一般社団法人千歳観光連盟にて勤務されております。2009年に北海道教育大学札幌校国際理解教育課程修了、また、2011年には北海道大学文学研究科にてタイの地域研究をされ、修士号を取得されております。ボランティアへの関わりですが、ボランティア活動を始められて8年目です。大学2年生の時に学科の先輩に誘われ、「飛んでけ!車いす」の会を知り、活動を始められております。その後、学生理事を経て事務局長を2年務めております。現在は社会人ボランティア兼理事としてボランティア活動を続けられております。これまで車いすを運んだ回数ですが、個人旅行で9回、スタディーツアーに5回参加されております。本卓話にあたりまして皆さまのテーブルに「飛んでけ!車いす」の会のパンフレットを置いてありますので、活動内容などご覧頂き、ご理解して頂きたくお願い致します。合わせて、この活動を運営するに当たり皆さまの温かいご支援をお願いしたいと存じます。卓話の際に皆さまのテーブルにお伺いさせていただきますので、皆さまの温かいご寄付をお願い致します。結びに、本卓話を行うに当たり、榊原副委員長にご尽力を賜りました。この場を借りて感謝申し上げ、卓話に入りたいと思います。それではよろしくお願い致します。

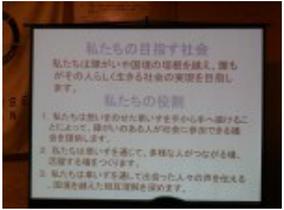
### 卓話「誰にでもできる国際協力」



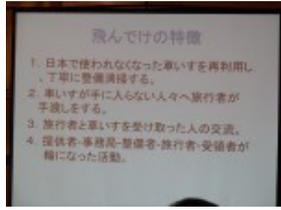
「飛んでけ!車いす」の会  
代表理事 中原 宏和 様  
ただいまご紹介頂きました、認定NPO法人「飛んでけ!車いす」の会、代表理事の中原です。  
本日はお招き頂き、有り難うございます。ちなみに



本会の英語表記ですが、Go fly with chairsとなっております。文法とか全く無視した表記となっておりますが(笑)、海外の方からは“非常に覚えやすい名前ですね”と言われます。是非、英語名も覚えて頂けたらと思います。



私たちの目指す社会



「飛んでけ! 車いす」の特徴

車いすの手渡し方ですが、事務所から空港まで手で運んで持って行きます。飛行機に乗る際に預け入り手荷物としてスーツケースの代わりに車いすを預かって頂くようお願いしています。こういう形が出来上がった経緯として、初代の代表理事が(中原氏は3代目)学生時代に大学サークルでベトナムに行った際、現地の病院に“何か欲しい物はありますか”と尋ねたそうです。返ってきた答えが、「車いす」と「ビタミン剤」が欲しいという事でした。ビタミン剤は何かカバンに入れれば持って行けますが、車いすはどうすれば良いのか、学生なのでお金も無い状況です。考えた末、自分達の荷物を少なくし、代わりに荷物として飛行機で持って行けるのではないかと考え、航空会社に頼んだ所、きちんと運ぶ事が出来ました。日本から海外へ車いすを届けている団体は多々あるのですが、当会のように自分で運ぶという会は余りありません。

車いすは、使っていた方が亡くなり、使われなくなった例や人間の成長に合わせて更新していく必要がありますので、施設や学校単位でその際に使われなくなった車いすを頂いています。他にも神奈川県相模原市の養護学校のお母さん達はとても熱心に行動して頂き、子供用の沢山の車いすを寄贈頂いております。子供用の車いすは日本では作られておりますが、諸外国でそこに暮らす子供に合った車いすを作っている国はありません。そうやって集めた車いす(常時100台~120台ほど確保)をシニアの方々のお力を借りて整備し、それを選定して国外に届けています。  
※下記は佐々木理事がカンボジアの女性の訓練施設に車いすを届けに行った際の写真です。散歩や買い物に行く事が出来て喜んでいました。届けた後、どう使うか、生活がどう変わったか現地の声を聞くのが楽しみだと話されていました。



※16年間の実績で77カ国2424台が届けられています。青年海外協力隊の方々のご協力も頂きながら届けています。人的協力だけでなく、沢山の企業からも様々な形でご支援頂いているそうです。

ここで、発表者が佐々木理事に代わり、「飛んでけ! 車いす」の会の実際の活動紹介がされました。



理事 佐々木 香澄 様  
佐々木理事には実際に受け取られた方やご家族の生活がどう変わったか、その様子を発表して頂きました。実際に受け取った方々の声として、タイでは生まれつき両腕と右足が短い女の子からは家族の介助なしに家から出る事が出来たという言葉や、ガーナでは車いすが届けられた事で友人の力を借りながら小学校に通えるようになったという事、カメルーンでは中学校で数学の先生をしている方に車いすが届けられ、これまでは両手両足にサンダルを履いて学校に通っていたのですが、車いすが届いた事で楽に仕事が出来ようになったと感謝の言葉を頂いたそうです。その他にもベトナムの事例で家族の介助が楽になるとの言葉も紹介されました。



タイの事例



ガーナの事例



カメルーンの事例

卓話の最後に佐々木理事は、パンフレットにも書いてありますが、当会はリングブルの収集を行っております。リングブルというと新品の車いすと交換するイメージが強いと思いますが、新品1台と交換する為には沢山の量を集めなければなりません。私たちはそのリングブルをお金に換え、車いすを整備する資金として活用しています。皆さまの事業所に自動販売機がありましたら、リングブル回収箱を設置して頂けると大変嬉しく思います。と述べられました。



◇菅原委員長から寄付金41,000円の贈呈、藤本会長より記念品の贈呈です。

「飛んでけ! 車いす」の会の皆さま、貴重なお話を有り難うございました。

~詳しくはホームページをご覧ください~

## 第15回理事会開催報告

1月29日の通常例会前に、第15回理事会が開催されました。今回の議題は①2月の例会について②細則変更に伴う正会員の会費について③菖川会員の退会届提出について④本年度の新規事業実施について⑤事務局コピー機の更新についてでした。

以下、上記議題に対して決まった事項です。

①2月の例会スケジュールは全て予定通りと決定しました。

②細則変更に伴う推薦した正会員の会費について

年会費	3万円	
早朝例会	500円	
通常例会	1,300円	
夜間例会	3,500円	と決定します。

③菖川会員から提出された退会届について、推薦者及び複数の会員が慰留を試みましたが、本人の意思は固く、撤回の可能性が低い事から、受理する事と決定します。

④昨年の12月に五十嵐 宏 副会長、佐々木 金治郎 会員から千歳市の表彰を受けられた事と会員有志による祝賀会開催に対し、クラブに5万円のご寄付を頂きました。本年度中にそれを原資とする事業を行いたいと思いますが、理事の皆様から具体的アイデアを来月の理事会に提出されるようお願いいたします。

⑤既に昨年FAXコピー兼用機が正常に作動していない状況が発生しています。製造から相当年数が経っている事から修理部品も調達出来ません。一応見積書を事務局にて取り寄せましたが、100万円を超える高額な物です。そこで、年度末に集中する事務作業に間に合わせる為、コピー機の更新を行いたいと思います。来月の理事会に資金計画、新たな見積書を提示しますので皆さまにお決め頂きたいと思います。

## ニコニコBOX

1. 大西 信也 会員 第1回 沼田年度理事会を27日にANAで開催しました。理事の方々ご出席有り難うございました。
2. 菅原 正行 会員 本日の卓話にて「飛んでけ! 車いす」の会、代表理事 中原様、理事 佐々木様よりしくお願い致します。
3. 佐藤 秀雄 PG シャムロックのタイゴルフツアーに参加しました。7ラウンドして常に90台でした。
4. 福田 武男 PC シャムロックのタイゴルフツアーに参加しました。
5. 藤本 敏廣 会長 本日の卓話ゲスト「飛んでけ! 車いす」の会、代表理事 中原様、理事 佐々木様よりしくお願い致します。
6. 沼田 常好 会員 27日に次年度、第1回理事会が行われました。次年度に向かって準備を行っていきます。メンバーの皆様のご協力よりしくお願い致します。
7. 平間 和弘 会員 シャムロックのタイゴルフツアーに参加し毎日おいしい料理とお酒(ソフトドリンク)を頂いて来ました。武石社長有り難うございました。
8. 長澤 邦雄 PC 12月24日(クリスマスイブ)5人目の孫(女の子)が誕生しました。
9. 今野 良紀 会員 自宅の電気代が昨年は冬期間月々5万円位でしたが、今年は8万円位になっており、ガスを検討しようと思いました。
10. 高橋 憲司 会員 妻の誕生日の素敵なお花を頂きました。有り難うございます。
11. 五十嵐 桂一 幹事 昨日まで出張で水戸にいました。名門大洗ゴルフクラブでプレーして来ました。僕には手強いゴルフ場で修行直します。
12. 武石 忠俊 PC シャムロックのタイゴルフツアー無事終了しました。

本日のニコニコ集計 12名 13,000円

出席率

今回: 56.9% (1月29日=33/58 実数)

確定: 88.1% (1月15日=52/59、うちMu0名)